



アイヌタイムズ

第 60 号

2014 年 9 月 30 日 (火) アイヌ語ペンクラブ

アイヌタイムズ第 60 号(2014 年 9 月 30 日発行)からアイヌ語抜粋
著者: 横山裕之

カパッタニ 花粉症

(アイヌ イタク [アイヌ語])

サモロモシリ タ スギ花粉症 アスル アシ コ
ロカ、アイヌモシリ タ スギ花粉 モヨ ラポク
タ、カパッタニ カフン ポロンノ ホブンパ
ルウェ ネ。

シリパイカラ コロ カパッタニ 花粉 ホブン
パ ルウェ ネ。

シリパイカラ コロ インネ ウタラ ソイネ ルウ
エ ネ。

ゴールデンウィーク エトク ワノ 6 チュプ ア
ツパケ パクノ レラ アシ ワ カパッタニ 花
粉 ホブンパ ルウェ ネ。

カパッタニ 花粉 アナク 1ミリメートル 40分
の 1 パクノ ポン ルウェ ネ。

ネワアンペ レ エトウク ペ (花粉管口) コロ
ルウェ ネ。

シラカバ花粉症

(日本語)

本州ではスギ花粉症が有名ですが、北海道で
はスギ花粉の飛散は少なく、シラカバ花粉が
多く飛散しています。

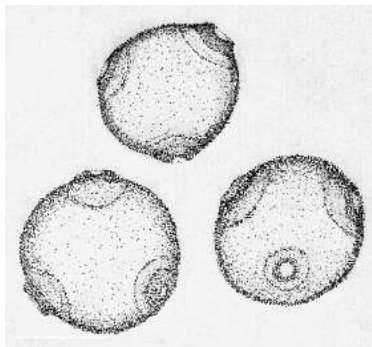
シラカバ花粉は春とともにやってきます。

春には、多くの人が戸外にでできます。

ゴールデンウィーク前から 6 月の初めまでの
間、風が吹いてシラカバの花粉が飛散します。

シラカバの花粉は直径が1ミリメートルの40分
の1前後です。

3 つの突起(花粉管口)を持つ特徴的な形をし
ています。(図 1)



カパッタニ 花粉 アセル コロ オカアン ヤクン テ パクノ カパッタニ 花粉 エウエン クル ソモ ネ ヤッカ、シネ アン パ ワノ エクシコンナ エウエン ヒ カ アン ナンコロ。

タスム ウタラ ヘムパキウ オカ ヤ カ アエラムペウテク コロカ、タブ ウフナク アイヌモシリ タ カパッタニ 花粉 エウエン ウタラ ポロンノ オカイ ペ ネ ヤク アイェ ルウエ ネ。

カパッタニ 花粉症 アナクネ、アイヌモシリ タ パテク オカイ ペ ネ クニ アラム ナンコロ コロカ、エカナイ ワノ ヨーロッパ北部 オロ タ ネヤ アメリカ北部 オロ タ ネヤ オカイ ペ ネ ルウエ ネ。

カパッタニ 花粉症 アナクネ アレルギー タスム ネ ワ、モトホ アナクネ シネ アン タンパクシトウ ネ ルウエ ネ。

ネ タスム アキ ヤクン、アシキヒ マヤイケ カ キ、エトウペチッカアン カ キ、エシナアン カ キ、エトウムアン カ キ ルウエ ネ。

カパッタニ 花粉 エウエン ウタラ アナクネ、果物過敏症 キ ヒ カ アン ワ、リンゴ、サクランボ、キウイ、梨、桃、イチゴ、メロン、プラム、柿 ネヤ アエ ヤクン、アパロマヤイケ ヒ カ アン ルウエ ネ。ネ タスム ウエン ヤクン、アトウアン ヒ カ アン ルウエ ネ。

北海道立衛生研究所 オロ タ、1996 パ ワノ 大気 オロ ウン カパッタニ 花粉 ピシキ コロ アン。タネ ウサ 保健所 オロ ウン ウタラ トウラノ 函館、札幌、岩見沢、旭川、帯広、北見 (アイヌモシリ オロ ウン ポロ 6 マチヤ コタン) オロ タ ネ 花粉 ピシキ ルウエ ネ。

ネ 6 コタン オロ タ イヨッタ ポロンノ、札幌 オロ タ カフン ホブンパ ルウエ ネ。函館 アツカリ 帯広、帯広 アツカリ 北見、北見 アツカリ 旭川、旭川 アツカリ 岩見沢、岩見沢 アツカリ 札幌 オロ タ ポロンノ カフン オカ ルウエ ネ。

函館 オロ タ スギ花粉 カ ポロンノ ホブンパクス、ネ ウシケ タ スギ花粉 カ ピシキ ルウエ ネ。

アイヌモシリ オロ タ、4 チュブ ケシ ワノ 6 チュブ アツパケ パクノ カパッタニ 花粉症 アン。5 チュブ ケシ ワノ 7 チュブ アツパケ パクノ 牧草(イネ科)花粉症 アン。8 チュブ

シラカバの花粉を吸い続けると、これまでシラカバ花粉症の症状を示さなかった人でもある年から突然発症する恐れがあります。

正確な患者数は把握できていませんが、北海道では最近シラカバ花粉症患者が増えてきていると言われています。

シラカバ花粉症は北海道に限られたものと思われがちですが、世界的に見るとヨーロッパ北部やアメリカ北部などでも以前からあるものです。

花粉症は花粉に含まれる特定の蛋白質が原因で起こるアレルギー疾患です。

症状は、目の痒み、鼻水、くしゃみ、鼻詰まりなどです。

シラカバ花粉症患者の何割かは果物過敏症を併発し、リンゴ、サクランボ、キウイ、梨、桃、イチゴ、メロン、プラム、柿などを食べると口の中が痒くなったり、重症になると吐いたりすることがあるといわれています。

北海道立衛生研究所では 1996 年から空中のシラカバ花粉の観測を開始し、現在では保健所の協力を得て道内主要6都市(函館、札幌、岩見沢、旭川、帯広、北見)で観測を行っています。

6都市の中では、シラカバ花粉が最も多く飛散するのが札幌で、岩見沢、旭川、北見、帯広、函館と順に少なくなっていく傾向がありました。

なお函館ではスギ花粉も多く飛散するため、スギ花粉の観測も行っています。

北海道の主な花粉症は、4 月下旬～6 月上旬のシラカバ花粉症、5 月下旬～7 月上旬の牧草(イネ科)花粉症、8 月下旬～9 月前半のヨモギ花粉症です。上記以外の花粉(イチイ、マツ

ケシ ワノ 9 チュブ アツパケ パクノ ヨモギ花 等)についても札幌では調査を行っています。
粉症 アン ルウエ ネ。
モシマ 花粉 (イチイ ネヤ マツ ネヤ) ネ ヤ 上記以外の花粉(イチイ、マツ等)についても札幌
ツカ、札幌 オロ タ ピシキ ルウエ ネ。 幌では調査を行っています。
ネワアンペ 北海道立衛生研究所 オロ ウン これらの観測・解析結果は「花粉情報」として
ホームページ(花粉情報) カ タ アヌカラ エア 当所のホームページで提供しております。
シカイ ルウエ ネ。

<http://www.iph.pref.hokkaido.jp> (日本語)

http://www.iph.pref.hokkaido.jp/pollen/pollen_info.asp (日本語)

アイヌタイムズをご購入していただける方がお知り合いでいらっしゃいましたら、お声をかけていただけると大変うれしく思います。

購読連絡先: 〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 萱野志朗(宛)

購読料: 1500 円 (4号ごと/アイヌ語版のみ)

2300 円(4号ごと/アイヌ語版と日本語版)

読者からの投稿募集:

(連絡先): 〒047-0033

浜田隆史(宛)

北海道小樽市富岡 1-32-136

電子メール: otarunay@yahoo.co.jp

ウェブページ: <https://otarunay.at-ninja.jp/taimuzu.html>

注)アイヌタイムズの著作権は、アイヌ語ペンクラブにあります。

注)1. 赤字は、アイヌ語です。

2. 赤字のイタリック文字は、日本語由来のアイヌ語外来語です。